

真木地区簡易水道施設整備工事（真木配水施設工）

設計図書に関する質問への回答（第2回）

令和4年11月22日

大 月 市

※この回答は、令和4年10月25日から令和4年11月22日までの間で受け付けた設計図書に関する質問に対する回答を公表するものです。

※質問・意見の内容は、基本的に事業者からの原文のままを転記していますが、1つの文章に複数の質問があった場合は分割して回答しています。

No	項目	質問事項	回答	回答時期
1	採用工事区分及び採用経費区分について	①工事区分は建設工事或いは水道工事のどちらでしょうか。 ②経費区分は何を採用されていますか。	①工事区分は、水道工事です。 ②経費区分は、構築物工事（浄水場等）です。	第1回目
2	見積採用工種の見積先の開示について	①ステンレス鋼板製配水池の材料及び設置労務の見積先 ②地盤改良工の見積先	①別紙「真木地区簡易水道施設整備工事に関する特殊材料費等見積先一覧表」のとおり ②別紙「真木地区簡易水道施設整備工事に関する特殊材料費等見積先一覧表」のとおり	第1回目
3	資材価格について	昨今は資材費の高騰が続いています。今回のステンレス鋼板製配水池等の購入資材において、発注者積算価格と実際の購入価格に大きな乖離が発生した場合、変更協議は可能でしょうか。	山梨県工事請負契約書第25条に規定されているスライド制度に基づき、受注者と協議します。 https://www.pref.yamanashi.jp/gijutsukanri/documents/r0408_leaflet.pdf	第1回目
4	施工箇所の用地について	①施工箇所は民地と見受けられますが、借地或いは購入地のどちらでしょうか。 ②地権者の施設（仮囲い等）や敷地内に所有物等が存在しますが、扱い等については如何お考えですか。	①本市において、当該用地の取得手続を行っており、購入予定です。 ②用地内の所有物は、単独事業費として別途撤去処分費用を計上します。	第1回目
5	施工箇所の用地について	施工箇所の用地は、購入手続き中との回答を頂きましたが、購入手続きが完了して現地作業着手が可能になる時期は何時からになりそうですか。	用地手続きは完了予定です。なお、契約後の工事着手は可能です。	第2回目

No	項目	質問事項	回答	回答時期
6	地盤改良工について	<p>①地盤改良が予定されていますが、発注前に地質調査は行われていますか。また、行われている場合は資料の開示はお願い出来ますか。</p> <p>②柱状地盤改良 50本 L=4.90m 均一で計画されていますが、事前地質調査及び上載荷重等を考慮された設計がなされていて施工着手後の変更（改良深度等）は無いものとして判断して宜しいでしょうか。</p>	<p>①配水池用地において2箇所の地質調査を行っています。なお、地質調査の詳細は、別紙「建物概要」とおりました。</p> <p>②柱状地盤改良 50本の計画は、2箇所の地質調査結果に基づき、L=4.90m均一と設定していますが、施工延長等に変更が生ずる場合は、協議するものとなります。</p>	第2回目

◎ 真木地区簡易水道施設整備工事に関する特殊材料費等見積先一覧表

真木地区簡易水道施設整備工事（真木配水施設工）

工 種	見積先会社名	住 所	電 話
配水池築造工 (ステンレスパ ネルタンク)	森松工業株式会社	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング4F	03-5360-3551
	株式会社ベルテクノ	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル7F	03-3221-8217
	株式会社小笠原工業所	〒791-0054 愛媛県松山市空港通5丁目10番3号	089-972-0043
地盤改良工	テノックス株式会社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号 ヒューリック三田ビル	03-3455-7790
	ジオテック株式会社	〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目20-21 広宣ビル3F	03-5985-8197

建物概要

建設場所 山梨県大月市

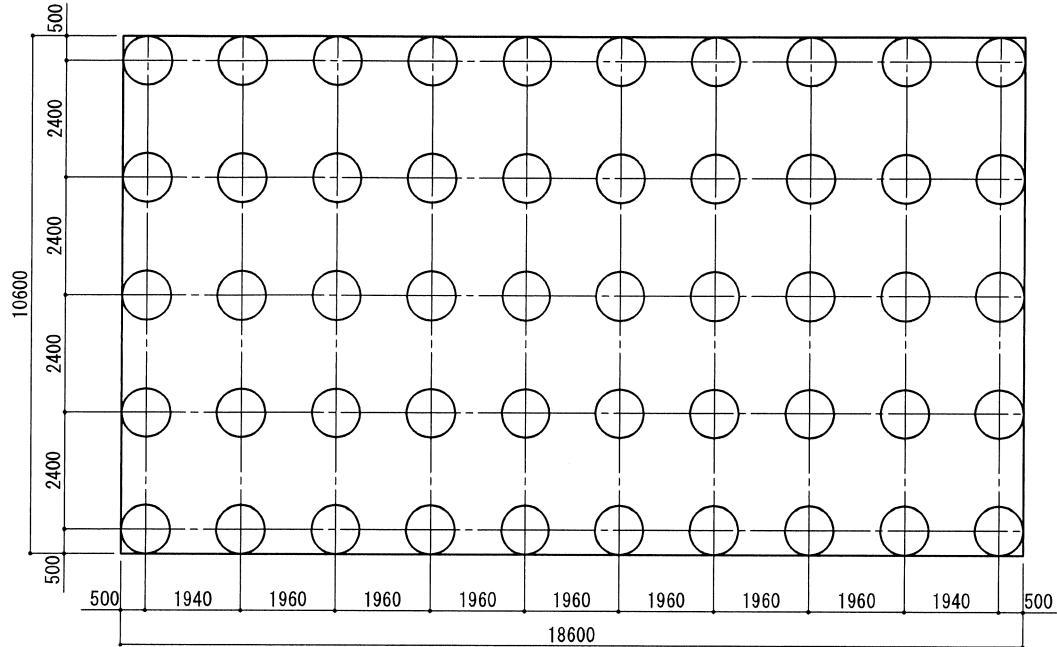
設計条件

本設計は、日本建築センター「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」に基づき、テノコラム工法の設計を行うものとする。

検討項目	常時、中地震動時および大地震動時における安定計算
荷重条件	鉛直力： 地耐力計算書 接地圧の算出 による 常時： 常時接地圧 参照 中地震動時： 地震時接地圧(レベル1) 参照 大地震動時： 地震時接地圧(レベル2) 参照 水平力： 地耐力計算書 作用荷重の集計 による 中地震動時： 地震時(レベル1) 水平力 参照 大地震動時： 地震時(レベル2) 水平力 参照
対象ボーリング	No. 1、No. 2
設計GL	Bor. 孔口-0.50m ※ 各対象ボーリングで孔口標高が異なるが 与条件により、それぞれのボーリング孔口より-0.50m
基礎形状	ベタ基礎
基礎下端レベル	設計GL-0.30m
改良径	φ1000

テノコラム配置図

改良径 $\phi 1000$



テノコラム数量表

設計基準強度 $F_c = 1100 \text{ kN/m}^2$

対象ボーリング No. 1、No. 2

設計GL ボーリング孔口 - 0.50m

掘削長 = 3.80m ~ 6.00m (平均 4.90m)

捨てコンクリート厚 = 50mm とする

基礎下端レベル	掘削長 (m)	空掘長 (m)	設計コラム長 (m)	改良径	本数 (本)
設計GL - 0.30m	平均 4.90	0.35	平均 4.55	$\phi 1000$	50

支持地盤：強風化砂岩、礫混じり粗砂

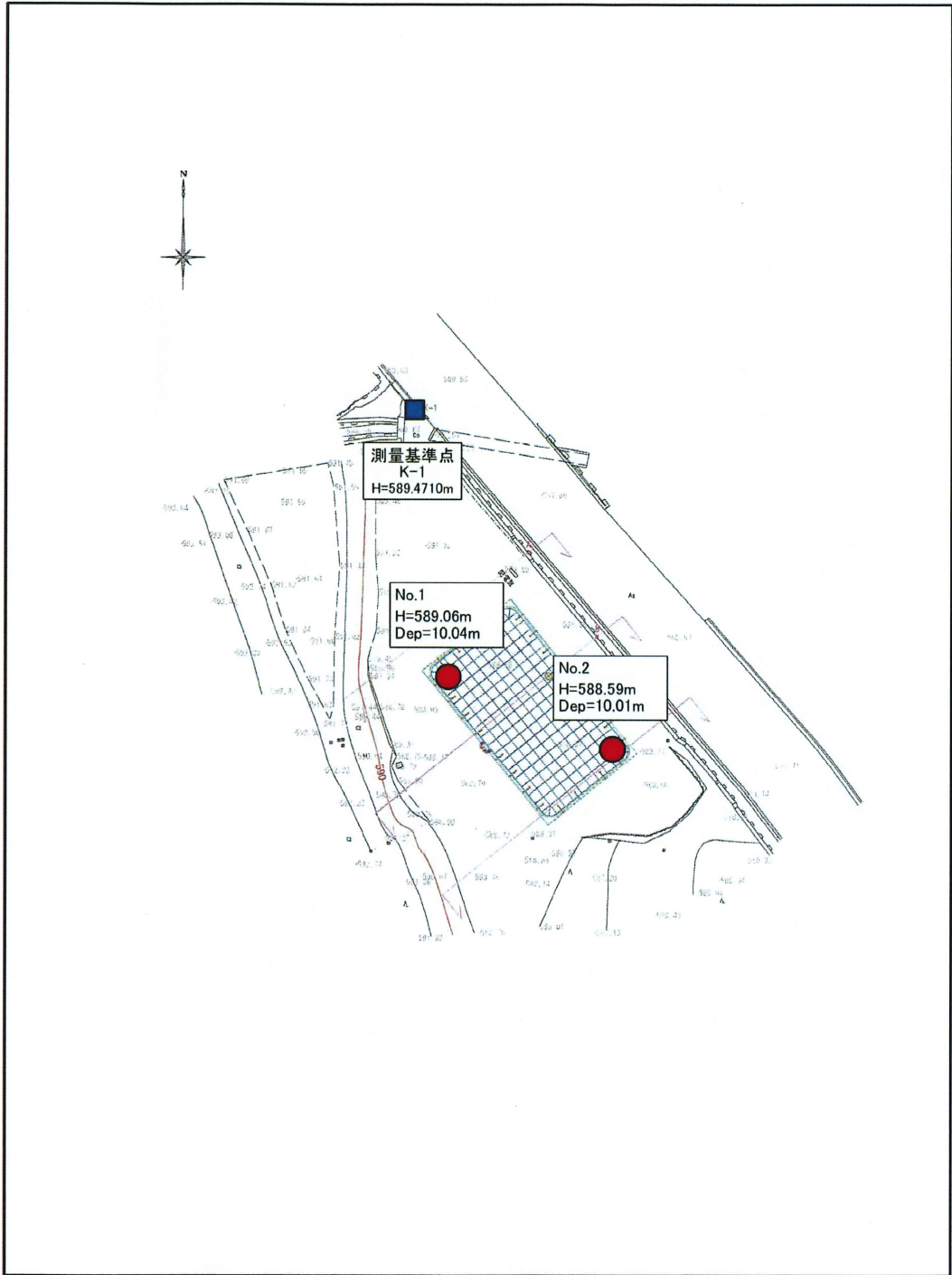


図- 1.2 調査地点位置図

ボーリング柱状図

調査名 R3大月市真木簡易水道施設整備実施設計の2

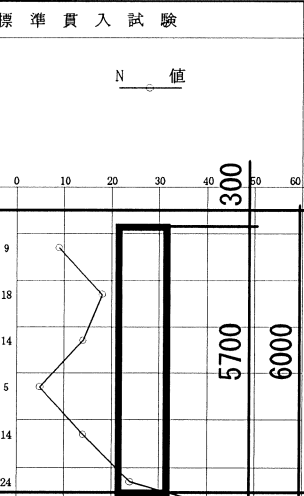
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo 210991

ボーリング名	No. 1		調査位置	山梨県大月市大月町真木地内			北緯	35° 37' 30.61"	
発注機関	大月市役所			調査期間	令和 4年 3月 4日 ~ 4年 3月 7日		東経	138° 53' 58.20"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	H=589.06m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100H エンジン NFD10E
総掘進長	10.04m	度	0°	向				ハンマー落下用具	半自動落下装置 ポンプ V5-P

標尺 (m)	層高 (m)	厚度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対密実度	相対調度	相対密実度	相対調度	相対密実度	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日	
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 (m)							
589.46	0.60	0.60		腐土	暗褐色							1.16	3	3	3	9						
587.81	0.65	1.25		礫混じり粘性土	暗褐色							1.46	7	6	5	18						
				砂礫	暗褐色							2.46	6	3	5	14						
				砂礫	暗褐色							3.46	4	2	1	5						
				砂礫	暗褐色							4.46	4	4	6	14						
582.56	6.25	6.50		強風化砂岩	暗緑褐色							5.46	6	9	9	24						
				風化砂岩	暗乳青灰							6.46	5	5	5	300						
582.01	0.55	7.05		風化砂岩	暗乳青灰							7.05	5	5	5	750						
				風化砂岩	暗乳青灰							8.05	2	2	2	750						
				風化砂岩	暗乳青灰							9.02	2	2	2	750						
579.02	2.99	10.04		風化砂岩	暗乳青灰							10.00	4	4	4	375						
				風化砂岩	暗乳青灰							10.04	4	4	4	375						



設計G.L. Bor. 孔口 - 500

改良底面

ボーリング柱状図

調査名 R3大月市真木簡易水道施設整備実施設計の2

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo. 210992

ボーリング名	No. 2	調査位置	山梨県大月市大月町真木地内			北緯	35° 37' 30.39"				
発注機関	大月市役所			調査期間	令和4年3月7日 ~ 4年3月9日		東経	138° 53' 58.71"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	H=588.59m	角	180°上 90°下	方	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試験機	ハンマー落下用具	ポンプ
総掘進長	10.01m	度	0°	向				KR-100H	NFD10E	半自動落下装置	V5-P

